

神奈川施保連ニュースVOL. 67

発行人神奈川県知的障害者施設保護者会連合会会長岩本邦雄
編集同上広報部会HP:<http://w01.tp1.jp/~a368318200/>
発行所同上事務局〒235-0021 横浜市磯子区岡村3-15-14 岩本邦雄方
TEL&FAX 045-751-1010



講師：室津 滋樹氏
横浜市グループホーム連絡会会長、
NPO法人地域生活センター理事長
浮貝 明典氏
特定非営利活動法人PDDサポートセンター
グリーンフォーレスト管理者

室津滋樹氏の

講演概要

十一月二十三日(月)十三時から海老名市文化会館で、神奈川県知的障害者施設保護者会連合会主催、神奈川県知的障害者施設保護者会連合会会長岩本邦雄氏の講演「グループホームの運営に携わってきた経歴を持つグループホーム草分けの方」からA型グループホーム(当事者、家族が設立)の運営に関して、また、浮貝明典氏からは、発達障害児者のグループホームの運営に関する講演をしていただきました。

神奈川県知的障害者施設保護者会 独立型グループホームとはどのようなものか グループホーム利用の可能性を考える

横浜のグループホーム
2004年(昭和59年) 国の
制度発足の5年前、
横浜市グループホーム
に制度ができる1年
前に、障害者自身が
自分たちが暮らす家
を作ろうとグループ
ホーム「ふれあい生
活の家」ができて、い
つのお母さん方が何

(2) 「ふれあい生活の家」は、重度の人達も使えるようにと進めたが、2年後に無事その経緯を報告書にまとめることができた。

(4) 認知症のグループホームができる15年前に、知的障害者のグループホームが来ているのだが、今ではすっかり認知症の方が有名になった。

(6) 当時、横浜市の職員・在援協の職員・親や本人達も海外研修の機会が何度かあり、バンクーバーに行かれたお母さん達が、現地のグループホームを見て、これなら自分達でも作れそうだから、自分達で始めて、日本に帰ってきて始めたのがダンプです。

(3) 重度の人達もグループホームで生活できる、と言うことが分かったの、その後市も重

(5) A型グループホームは施設ではなく、家族が、子供たちと一緒に暮らす場所をぜひ作りたい、と言うことで作業所を作り、次は住まわって作ったり、障害者自身で作ってきたものである。

(7) グループホームへの道のり親が倒れた時に入所施設に行くしかない、そこで地域とのつながりや人間関係が失われる。

度加算の制度を作ったし、国も動き出した。グループホームもまだまだ足りないものが多いが、それについては、きりめりないもの、足りないもの

が協力を、運営委員会を作ったが、法人格を持たない任意団体で運営することから、横浜の弱

① 親が倒れた時に入所施設に行くしかない、そこで地域とのつながりや人間関係が失われる。② 家で暮らしていると、知らない人と付き合えない、他人の介護を受けられない、などから、無理心中が後を絶たなかった。③ 入所施設か家のどちら

場合は在援協(現(社)横浜市社会福祉協議会障害者支援センター)が、作業所やグループホームの運営を支援してきた歴史がある。したがって、親が、子供たちはどういう処で住みたいのか、という想いを込めてつくってきたことと、地域の協力がなくとも運営して行けないというところから、地域とのつながりを大切に

せる場として、バンクーバーでの視察を通じて、グループホームがでてきた。

(8) グループホーム連絡会で大切にしていること

① グループホームは共同生活では無い。基本的に自分の部屋があり、そこ

で自分のしたい生活ができる。一人ひとりの暮らしがあるが、一人ぼっちではない。

② グループホームでの暮らしは、朝は日中活動の場に出かけ、夕方には帰ってくる。部屋でゆっくりできる普通の生活をする。しかし、毎日楽しく暮らせるというものではない。

浮貝明典氏の講演概要

★横浜市には、障害のある方が現在のグループホームがあり、3千人

待機者が2013年(平成25年)で約500人(内、行動障害のある



人は約300人)いる。これまでグループホーム連絡会などが要望してきた横浜市の補助金制度に負うところは大きい。が、今後はこれまでのようなA型のグループホームの設置はできない。

① 3ホーム(ハーモニ(開所21年)、ブルーベ(開所15年)、ポマト(開所12年))には16名入居しており、平均障害支援区分は「5.3」で重度の方が利用している。

したがって、移行に際しては本人に必要な支援と、その量の見極めが重要になる。

- ★地域移行後の課題
- ① 朝・朝食・服薬・洗面(歯磨き)↑居宅介護(身体介護)
- ② 朝・出勤↑通所通学・送迎サービス
- ③ 朝・週末帰宅↑移動介護・行動支援
- ④ 昼・日中活動↑生活介護
- ⑤ 夜・夕食・服薬・入浴・歯磨き↑居宅介護(身体介護)

⑥ 休日昼・日中活動↑重度訪問介護 ※自分の部屋のことは自分でやるようにお願いし、お風呂掃除とか食器の片付けなど、出来るものはやってみようとしている。

★グループホームは閉ざされた世界ではあるが、外部のサービスを使うことが入ること、風通しが非常に良くなる。

その代り色んな人が関わるので、バラバラな対応をしようとする人が混然としてしまう。

人が同じでなくとも対応が同じであればそうはならないので、声のかけ方一つでも統一されていれば、混乱は起こらない。

また、職員のやること、本人をよく知るための支援の強化・関係機関との連携・社会資源のコーディネート・外部資源への関わり方などの調整に、職員は専念できる。

障害を持つ人たちが病気になったとき、ケガをしたときに備えて

神奈川施保連では、知的障害児者や自閉症児者が病気やケガをしたとき、また、そのために入院したときなどに備え、「やまゆり知的障害児者生活サポート協会」の運営に参加しています。加入資格、その他の詳細は、下記までお問い合わせください。

やまゆり知的障害児者生活サポート協会
 〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡4-2 神奈川県社会福祉会館内
 TEL 045-314-7716 FAX 045-324-0426

では、一人で全てをやるため、パンクしてしまっている。
以下質疑応答略